

2019年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	金俊佑
研究テーマ	『俱舎論』における根見説と識見説について
研究概要	『俱舎論』に述べられている根見説と識見説との論争を手がかりとして、仏教伝統のなかで存在した諸部派や人物の思想的差異を明らかにする。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>根見説と識見説 との論争が登場する『俱舎論』の該当箇所を『俱舎論』の註釈書である安慧の『実義疏』、称友の『明義論』、満増の『随相論』を参照しながら解読した。これにより、まず、『俱舎論』を著述する当時の世親の思想的な立場と、根見説と識見説とをめぐる諸部派の立場を明らかにした。それから、論争において用いられる主要な用語と概念を整理し、論争に対する理解度を高めた。そして、論争が進行される過程においても一貫的に維持される各部派の根本的な立場を把握し、各部派の特徴を明らかにした。</p>
2. 今後の課題	<p>「根見説と識見説との論争」は『俱舎論』以外の文献、例えば、『五事毘婆沙論』、『阿毘達磨大毘婆沙論』、『阿毘達磨順正理論』、『アビダルマディーパ』、『誠実論』、『異部宗輪論』、『瑜伽師地論』、『大乘阿毘達磨雜集論』等においても見られる。そこで、これらの文献を相互対照しながら各部派や人物が有する立場を具体的に把握し、整理する予定である。</p>